

# TOSHIBA 東芝画面セレクタ取扱説明書

対象機種

TRS-75

このたびは、東芝画面セレクタをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。お求めの画面セレクタを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。  
なお、お読みになったあとは、必ず保存してください。

## 安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は本機のそばなど、いつも手元に置いてお使いください。
- この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図のなかに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

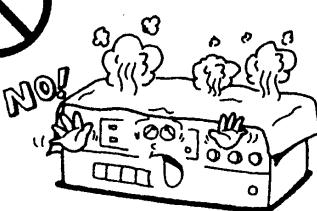


## 〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕

- 通風のよい場所に設置してください。高温や湿度、ほこりの多い次のような場所には設置しないでください。火災、感電の原因となります。
  - サウナや風呂場など
  - 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所
  - 直射日光のある場所
  - 夏の窓を閉めきった自動車の中
  - 電気、ガス、石油ストーブなどの暖房器具の真上やその付近
  - 有害ガスやいろいろなほこりが特に多い所



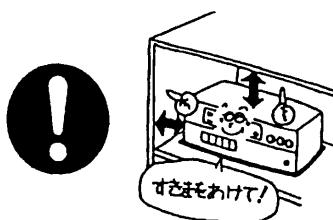
- この機器の通風孔はふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
  - 風通しの悪い狭い所におしこむ。
  - テーブルクロスなどをかけたり、じゅーたんや布団の上に置いて使用する。
  - 仰向けや横倒し、逆さまにする



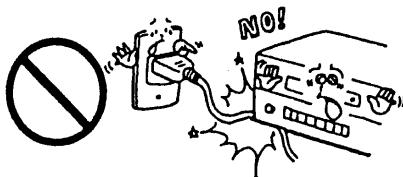
工事店様へ 工事が終了したら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。  
お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

# ! 警告

- この機器を設置する場合、間隔をおいて据えつけてください。  
また放熱をよくするために、他の機器との間を少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、すきまをあけてください。  
内部に熱がこもり火災の原因となります。



- 電源コードの上に重いものを乗せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。  
コードに傷がついて、火災、感電の原因となります。



- 表示された電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないでください。  
火災、感電の原因となります。



- この機器は改造しないでください。  
火災、感電の原因となります。



- AC100V関係の配線工事は電気工事士にご依頼ください。  
一般の人が行なうことは法により禁じられています。



- 必ずアース端子は接地してください。
  - 感電事故防止のため、および外来ノイズから機器を守るノイズ吸收素子の働きを活かすために、必ずアース端子を接地してください。
  - ガス管にアースすると危険ですから絶対におやめください。
  - アースはD種（第3種）接地工事（接地抵抗100Ω以下）とし、専用としてください。



- 〔使うときの注意〕
  - この機器に水が入つたり、濡らさないようにご注意ください。  
火災、感電の原因となります。

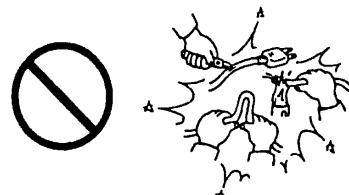


# ! 警告

- この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入つた容器や小さな金属物を置かないでください。  
こぼれたり、中に入つた場合、火災、感電の原因となります。



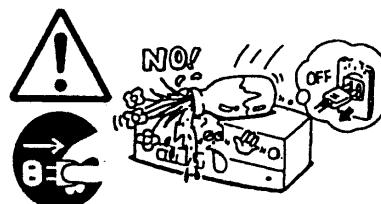
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたりねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。  
火災、感電の原因となります。



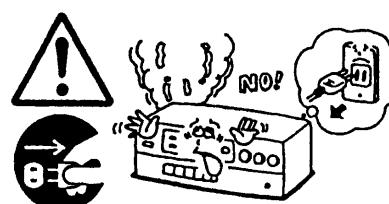
- この機器のカバーは絶対に外さないでください。  
感電の原因になります。  
内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。



- 万一、機器の内部に水や金属物などが入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



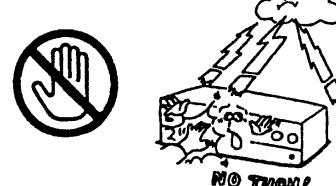
- 万一、煙が出ている、変な臭いがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。  
すぐに、本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理を依頼してください。



- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。  
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



- 雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグには触れないでください。  
感電の原因となります。



## ⚠ 警告

- この機器の通風孔から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災、感電の原因となります。



〔お手入れ、保守、点検にあたっての注意〕

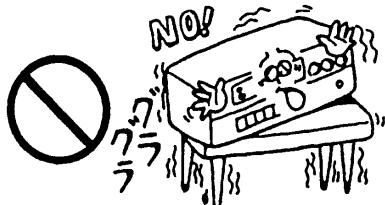
- 電源コードが痛んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまままで使用すると火災、感電の原因となります。



## ⚠ 注意

〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



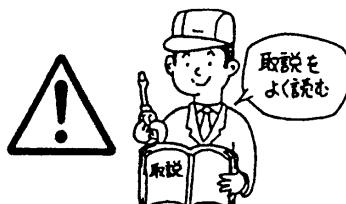
- 移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。そのまままで移動するとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



- 機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。



- 電源コードや接続機器類のコードを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



# ⚠ 注意

## 〔使うときの注意〕

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電の原因となることがあります。



- この機器の上に乗ったりしないでください。

特に子供にはご注意ください。  
こわれたりして、けがの原因になることがあります。



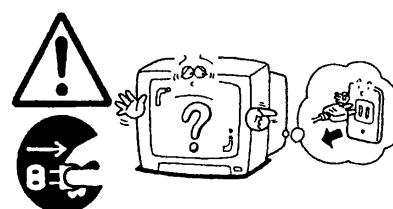
- この機器の上に重いものや、外枠からはみ出るような大きいものを置かないでください。

バランスがくずれて倒れたり落ちてけがの原因となることがあります。



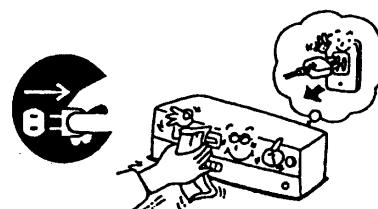
- 使用中に突然映像が出なくなったなどの異常が生じたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてお近くの販売店にご相談ください。

そのまま放置しておくと、大変危険です。

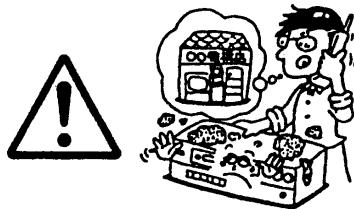


## 〔お手入れ、保守、点検にあたっての注意〕

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



- 1年に一度ぐらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまつたまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。

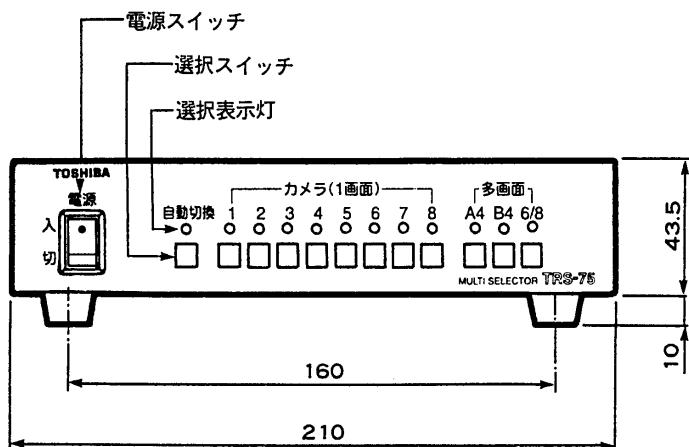


- ヒューズを交換するときは必ず指定容量のものをご使用ください。  
針金や銅線は使用しないでください。  
機器の保護ができず、発熱、火災の原因となります。



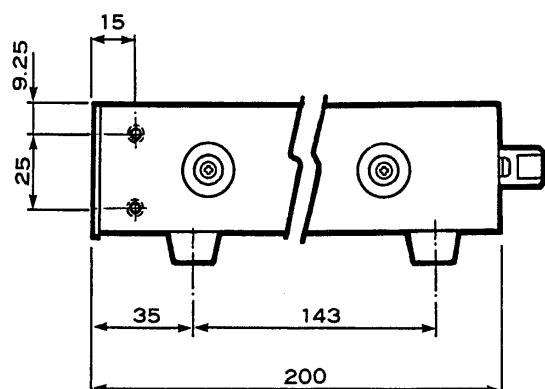
## 各部のなまえと大きさ

[正面図]

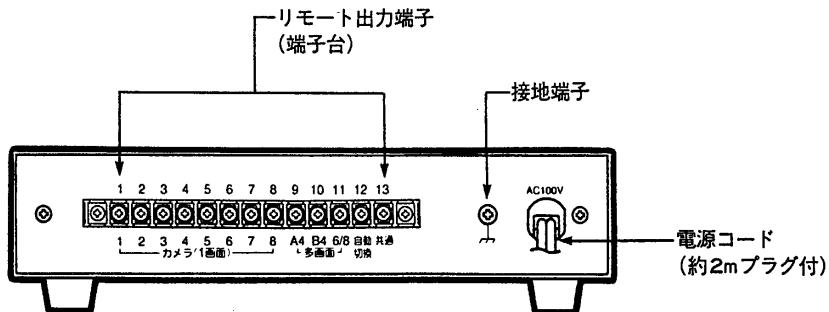


[側面図]

単位:mm



[背面図]

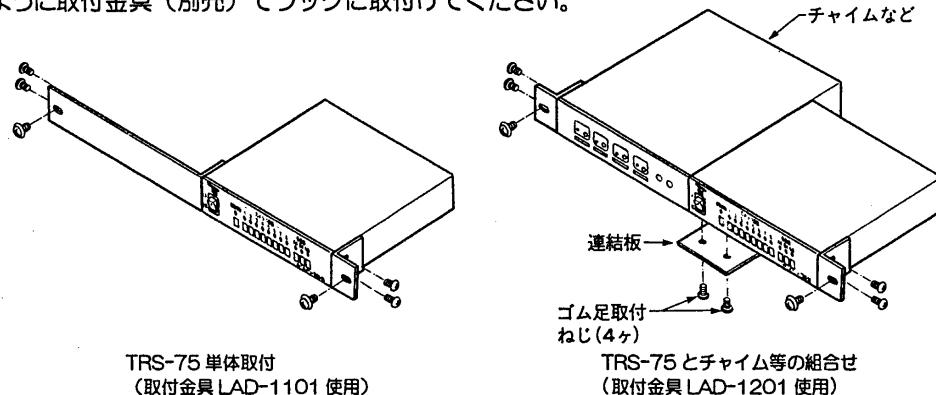


## 使用上のご注意

- 本画面セレクタの接続適合機器は、東芝8チャンネルマルチコントローラ TSAM-F75のみです。他の機器に接続しないでください。  
その他の機器に接続しますと、本機および接続機器の故障の原因になります。
- 8チャンネルマルチコントローラ TSAM-F75側で、次のプログラム設定をしないとリモートできませんのでご注意ください。(詳細は、8チャンネルマルチコントローラ TSAM-F75の取扱説明書をご参照ください。)  
【プログラム設定】 制御入力選択を次のどちらに設定します。  
モニタ1をリモートする場合：リモート1  
モニタ2をリモートする場合：リモート2
- 電源投入時は、自動的にA4（カメラ1～カメラ4の4画面）を選択します。
- 電源が一瞬でも停電しますと、電源投入時の選択動作（A4を選択）に戻りますので、ご注意ください。
- 8チャンネルマルチコントローラ TSAM-F75のモニタ2をリモートする場合は、多画面6／8（6画面／8画面）の選択はできません。（TSAM-F75のモニタ2出力には、6画面／8画面表示機能はありません。）

## 設置のしかた

- 卓上形としてまたはEIAサイズのロッカーに取付けて使用できます。
- EIAサイズのロッカーに取付ける場合は、別売の取付金具を使って次のように取り付けてください。
  - ①本機の底面のゴム足を全部取りはずします。
  - ②チャイムなどの機器と組み合せて取付ける場合は、連結板（取付金具に付属）を各機器のゴム足取付けねじを使用して、機器の底面に取付けてください。
  - ③図のように取付金具（別売）でラックに取付けてください。



## 接続のしかた

- 本画面セレクタの背面のリモート出力端子と8チャンネルマルチコントローラTSAM-F75の背面の外部制御入出力端子(D-sub 25ピン(メス)コネクタ)とを接続してください。

### 【TSAM-F75側に接続するコネクタ】

D-sub 25ピン(オス)コネクタ  
(本画面セレクタに付属されています。)  
適合ケーブル外径: 8mm  
固定ねじ: M2.6

### 【配線ケーブル】

導体直径: 0.4mm以上  
最大配線距離: 500m

### 【接続方法】

8チャンネルマルチコントローラTSAM-F75との接続方法(右表)に従って、接続してください。

### 【本画面セレクタからの信号】

オープンコレクタ(連続出力)

### 【TSAM-F75側でのプログラム設定】

制御入力選択を次のどちらに設定してください。

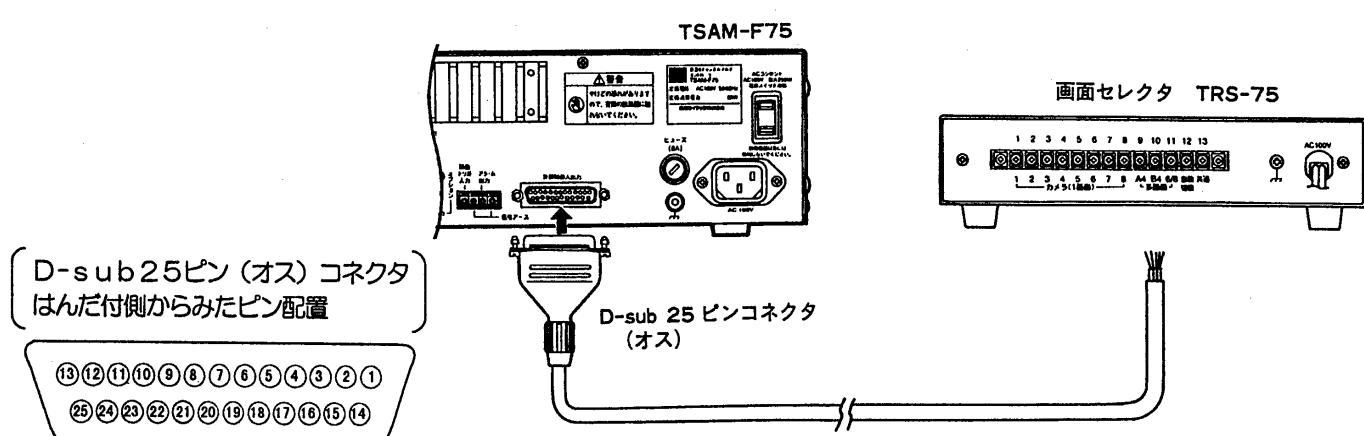
- モニタ1をリモートする場合: リモート1
- モニタ2をリモートする場合: リモート2

### 【TSAM-F75との接続方法】

TRS-75 端子台 番号	TSAM-F75 外部制御入出力 端子D-sub ピン番号	信号
1	1	カメラ1
2	2	カメラ2
3	3	カメラ3
4	4	カメラ4
5	5	カメラ5
6	6	カメラ6
7	7	カメラ7
8	8	カメラ8
9	9	A4画面
10	10	B4画面
11	11	6/8画面
12	12	自動切換
13	13	信号アース

### ご注意

- ・6/8画面選択は、モニタ2リモートでは操作できません。



## 使いかた

- 正しく接続されているかもう一度確認してください。
- 8チャンネルマルチコントローラ TSAM-F75および本機の電源を『入』にしてください。
- 8チャンネルマルチコントローラ TSAM-F75で、次のプログラムの設定をしてください。  
(詳細は、8チャンネルマルチコントローラ TSAM-F75の取扱説明書をご参照ください。)  
【プログラム設定】 制御入力選択を次のどちらに設定します。
  - モニタ1をリモートする場合：リモート1
  - モニタ2をリモートする場合：リモート2
- 本画面セレクタの選択スイッチを押して、モニタ画面を選択してください。

## 仕様

電 源	AC100V 50/60Hz	外 観	鋼板 ブラック(マンセルN1.5近似色)
消 費 電 力	約2W		
適 合 機 種	東芝8チャンネルマルチコントローラ TSAM-F75	外 形 尺 法	幅210mm 高さ43.5mm 奥行200mm
		質 量	約2Kg
リモコン出力	メイク接点 12回路 (オープンコレクタ 最大DC24V, 300mA)	付 属 品	取扱説明書……………1 東芝お客様ご相談センター一覧表 ……1 D-sub 25ピンコネクタ……………1 ヒューズ(0.5A) ………………1
配 線 距 離	最大 500m (導体径 0.4mm以上)		
使用周囲温度	0°C~+40°C		

## 修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、お買いあげの販売店またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは形名(TRS-75)およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

# D-sub コネクタ（付属品）の組立手順説明書

## （画面セレクタ TRS-75）

### ■ 組立手順

- ① コネクタ本体と電線（はんだ付又は圧着したコンタクトを挿入）をします。
- ② シールド編組線を外被に沿っており返しその上に銅箔テープを巻きます。
- ③ コネクタ本体をシールドカバーAに収納します。
- ④ シールドカバーBをシールドカバーAに沿って合せ、カバーのランスが掛かるまで押し込みます。
- ⑤ カバーナットを所定位置まで締めつけます。
- ⑥ スクリューロックを取り付けます。
- ⑦ Eリングをセットします。

